

なかよし 通信



2016. 4. 9 NO.1

桜の花も満開の中 入学式、始業式が行われました。新しい先生やクラスにドキドキしている子ども達の顔が浮かんできます。

なかよしも1年生 7人を含む 32人スタートです。春休みから1年生も来ているので、少しずつ慣れてきています。女子ばかりで にぎやかです！みんなが座ると去年までは女子がパラパラだったのに、今年度は女子の方が多くなりました。

2年生以上の子たち、1年生を気遣って お世話を焼いてくれます。すごーく助かっています。今年度は若いパートの先生も増え にぎやかな1年になりそうです。

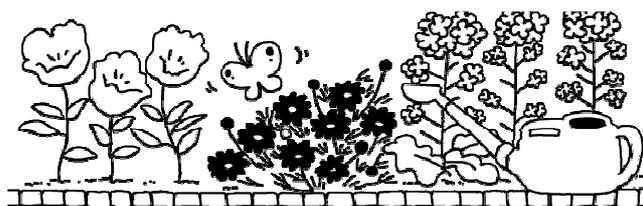
子ども達の声をしっかり聞いていける1年にしたいな~と思っています。

今年度も よろしくお願ひ致します！！

1年生紹介

岩西小。。。 5名

藤山台小。 2名



指導員紹介

まつ
てら
はったさん
すぎちゃん
こて
とみー

よろしく
おねがい
します

☆春休み お天気も良く 暖かい日が多かったです。子どもたちは学校でたくさん遊びました。1年生とドッチビーを楽しんだり、一輪車の練習を始めた子もいます。

2年生以上の女子は みんな1年生のフォローしてくれています。

☆女子は新しい班を作りました。来週から 始動します。

☆始業式は 雨でした。藤山台小はN島さんと 教頭先生に挨拶を済ませました。

とてもお忙しそうでした。岩西小は 一斉下校がなくなり、混乱しました。教頭先生にしっかりと お願ひしなくては。。。 と思いました。

おたのしみ遠足



3月28日 みんなで『博石館』に行きました。公共交通機関で行くのは不便で時間もかかるのですが 行きたい希望が多かったので、決定しました。博石館では、高学年は自由に、低学年は 指導員が付き添いました。宝石さがしから始めるチームとピラミッド迷路から始めるチームに別れ 楽しみました。宝石探しは30分！なかなか大きな石は見つかりません。でも子ども達の中には 良い事に気がつき大きな石をゲット！した子もいました。砂をならしているおばさんの後を探すと大きな石が見つかったそうです。子ども達の観察力に驚きました。ピラミッド迷路は4か所のチェックポイントを探して出口に向かいます。迷路の中を行ったり来たり ぐるぐる回っておもしろかったですよ。



もりころパーク

4月4日は歓迎遠足！！1年生6人とお出かけしました。最近恒例になっている「バス代を自分で払うこと」1年生が多かったのですが、やってみました。高学年と一緒に座ってお財布から120円を出すところは面倒をみてくれました。おかげで みんな落とすことなくバス代を払うことができました。今回のもりころパークは 『サツキとメイの家』の見学をしました。あいにくの雨でしたが、押し入れの中、台所、お風呂場、ランドセルを背負ってみたり、2階に上がる階段を覗いたり。。。楽しそうでした。午後は総合児童センターで昼食を食べて自由に遊びました。男子は鬼ごっこグループとセンターでやっているイベントをまわる子に分かれていました。女子もイベントをまわったり タワーを走ったり満喫していました。ただ知らないお兄さんに声をかけられ 可愛い思いをした子もいて、私たちの気が引き締まる瞬間もありました。帰るころには 雨も止み桜がとてもきれいでした。



こども全体会

6日に第1回こども全体会を行いました。1年生は入学式でお休みでしたが、初めての全体会は1年生にとっては何をやっているのかわからない退屈な時間のようなので、今年は2年生以上で進めました。新体制の全体会。議題は「新聞部を続けるのかどうか」でした。色々な意見がでました。「遊べないからいや！」「読む人がいるならやったほうがいい」

「たいへん」「迷路なら描くよ」新聞作りを始めたいきさつも話しました。「ずっと続いてきたものを止めたくないな〜」など 始めは止めるほうが意見が多かったのですが、話しあっているうちに 続けよう！！ということになりました。

新聞部部員も決まりました。3,4年生が立候補して、新しい新聞作り がんばっています。全体会の報告は新聞部が担当して他の記事はみんなで順番に受け持つことに決めました。『みんなで作ろう なかよし新聞!』というキャッチフレーズもできました。応援よろしくおねがいします! できたら是非読んでくださいね。

※今年度用の誕生日表も もうすぐ完成します。今年度は「くだもの・たべもの」がテーマになっています。おもしろい作品になっています。

※女子は班を新しくしました。人数も増えたので、2つから3つになりました。低学年が多くて大変そうですが、お世話好きが多くて 助かります。みんなやさしい!

※そろそろ半袖の着替えも用意してください。着替えの袋、着替えにも 必ず記名をお願いします。落とし物が誰のものか わからないことが多いです。

あいち学童保育研究集会 報告

3月6日に南山高校で研修に参加させていただきました。午前は高垣忠一郎先生の「やさしさときびしさで自己肯定感を育む」私は午後も高垣先生でまる一日「自己肯定感」について学びました。

『ストレス』誰にでもあるもので 子どもにもストレスはあります。それを言葉で話す事ができれば良いのだけれど、言葉で表現できない子は頭痛、腹痛、吐き気などが起こってくる。また、心の中にたまってあふれると暴力や暴言となってしまう。そこに自分と向き合ってくれる人がいると、少しずつストレスも解消されていく。子どもの声を聞く事の大事さ。言葉かけ(間接的でも、あなたを見ているよ~)も大切な事を感じました。思春期は自分の体の変化に子どもたちは動揺し心が不安定になっている。この様子をどのように伝えれば良いのかわからなく、心が不安定になっている。そんな時は子どもの気持ちを聞いて言葉にして気持ちを受け止めてあげる。なぐさめではなく子どもの気持ちに寄り添うことが大事です。低学年時代は、できなかったことも練習すればできるようになり、それが自信となる時 中学年は人との関係の中で敏感になり、周りから自分はどのように写っているのかが気になる時 高学年になると遊びの中で相手の立場に立って低学年の子に教えることができ、こう教えるとわかるんだということが意識できる時 そうやって教える事で自分の誇りになるようです。

【できない自分を引き受けながら がんばる力を身につけることが大事】だと

できたらほめるだけでは子どもの自己肯定感は育たない。

【自分が自分であって大丈夫】この気持ちを育てていくことが大切です。

